

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
R201	教育心理学	2年	講義	2	小浜駿
授業概要 毎回の講義は、授業感想の返答10分、講義60分、関連トピック紹介10分、感想記入10分の計90分で行う。講義の60分では昔から重要視されてきた教育心理学の基礎理論を紹介する。関連トピックでは、講義内容を応用した身近な知見を紹介する。教員や親として、児童・生徒(子ども)に接するうえで役に立つ知見を紹介することに重点を置く予定である。					
到達目標(学習の成果) 全体目標 a) 幼児、児童および生徒の心身の発達の過程に関する基礎的な知識を身に着ける。b) 彼らの学習の過程に関する基礎的な知識を身に着ける。そのうえで、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。 (a) 幼児、児童および生徒の心身の発達の過程における到達目標 1) 幼児、児童および生徒の心身の発達に関する代表的な理論を理解している 2) 幼児、児童および生徒の発達を多数の側面(運動、言語、認知、社会性)から複合的に理解している (b) 幼児、児童および生徒の学習の過程における到達目標 1) 幼児、児童および生徒の発達の特性を踏まえたうえで学習支援および学習評価に関する基礎事項を理解している。 2) 幼児、児童および生徒の発達の特性を踏まえたうえで主体的な学習を支援するための要因について広く理解している。 3) 幼児、児童および生徒による主体的な学習を支援するために必要な実践的な指導知識を得ている。					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	講義契約と教育心理学の概要	本講義と教育心理学の概要を述べる。また、評価方法や注意事項などについて説明する。 <u>コラム 授業内容は忘れても大丈夫!? 潜在記憶の不思議</u>			
2	発達と成熟	発達と成長の違いについてまず説明し、発達に必要な要因に関する諸理論を紹介する。また、発達曲線について解説する。 <u>コラム 赤ん坊はすごい!!</u>			
3	条件付けと学習	学習の定義についてまず説明し、その後に条件付けをとりあげながら学習の諸理論について説明する。 <u>コラム パチンコ・ソジャグになぜ“はまる”のか</u>			
4	ピアジェの認知発達理論	ピアジェの認知発達理論における4つの発達段階について説明する。 <u>コラム “中二病”はなぜ生じるのか①</u>			
5	人格と感情の発達	子どもの感情と愛着の発達について述べる。また、エリクソンを中心に人格発達に関する諸理論を紹介する。 <u>コラム “中二病”はなぜ生じるのか②</u>			
6	知能	代表的な知能テストを紹介するとともに、知能観と学業成績との関連についても説明する。 <u>コラム IQ(知能指数)とEQ(感情指数)</u>			
7	測定と評価	児童・生徒の習熟度を適切に測るために、テスト作成ではどのように工夫するべきか説明する。 <u>コラム 偏差値は100を越える?</u>			
8	教師のふるまい	教師のリーダーシップや児童・生徒への言葉かけについて概説する。 <u>コラム ハロー効果・ピグマリオン効果</u>			
9	色々な学習方法	知識を定着させやすい学習方略や授業方法について紹介する。 <u>コラム 集団で学習する難しさ</u>			
10	動機づけ	動機づけの自己決定理論を中心に、児童・生徒の動機づけを左右する要因について紹介する。 <u>コラム “ご褒美”はやる気をうばう?</u>			

11	認知カウンセリング	学業場面ですまづいた児童・生徒への援助方法を具体的に説明する。 <u>コラム 日常でも使えるカウンセリングテクニック</u>
12	やる気のない子ども	セルフ・ハンディキャッピングや先延ばしの原理について説明を行う。 <u>コラム わざと手を抜く？ 成功恐怖</u>
13	虐待・ひきこもり・いじめ	近年特に興味を持たれているこれらの現象について、心理学の観点から専門的に解説する。 <u>コラム ランチメイト症候群</u>
14	性差と教育	現代社会において存在すると考えられる様々な男女差について概説し、性差を考慮した教育の功罪について述べる。 <u>コラム 男子のつらさ・女子のつらさ</u>
15	学校適応と対人関係	学校適応の測定方法および学校適応が精神的健康に与える影響について概説する。その後、学校適応の規定因として考えられている対人特性について紹介する。

準備学修(授業外の自己学修)

参考書を読むことで予習・復習をしてほしい。基礎理論から最先端のトピックまで平易な言葉で解説してある。初学者に適した入門書である。

成績評価の方法・基準(%表記)

授業感想の内容評価を20%とし、期末試験を80%とする。期末試験は多肢選択問題のみとする(持込不可)

観点	S	A	B	C
基礎理論と日常生活との対応づけ	質的に十分であり、かつ網羅的である	十分に可能である	一定程度可能である	最低限可能である

教科書

使用しない。毎回授業資料を配布する。

参考書等

『やさしい教育心理学 第4版』(鎌原雅彦・竹綱誠一郎著 有斐閣アルマ 平成27年 2,052円)

履修上の注意・学修支援

毎回授業感想を記入する時間を設ける。考えついたことは何でも書いてほしい。自分の着想を否定しないことが勉学上達の一番の近道である。